

# 2011年10月 千葉県東方沖の地震活動

フィリピン海プレート-陸のプレート境界、逆断層型、最大 M3.7、最大震度 2

千葉県東方沖で、10月25日頃からまとまった地震活動が発生している。震源の深さは20km前後で、これまでの最大は、10月31日16時22分のM3.7の地震（最大震度2）である。

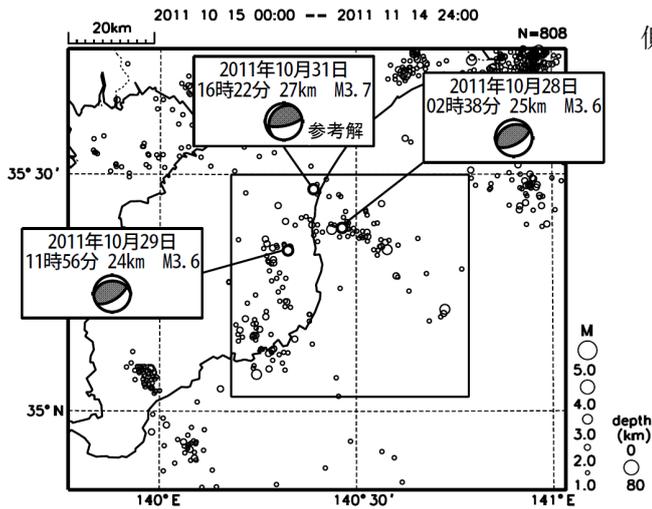
発生している主な地震の発震機構解は、概ね北北西-南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生している。

活動は北東側（海側）から始まり、その後南西側（陸側）に移動しているように見える。

これらの活動は11月14日現在、収まってきている。

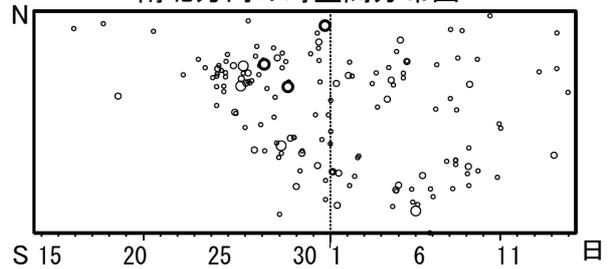
震央分布図

(2011年10月15日～11月9日06時、  
M $\geq$ 1.0、深さ0～80km)

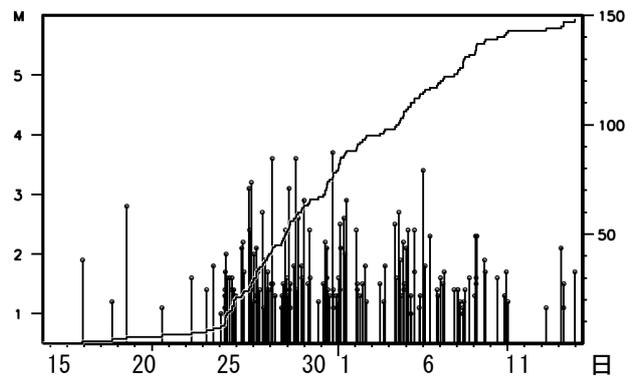


※参考解は通常の解よりも精度が悪く、信頼性が落ちる。

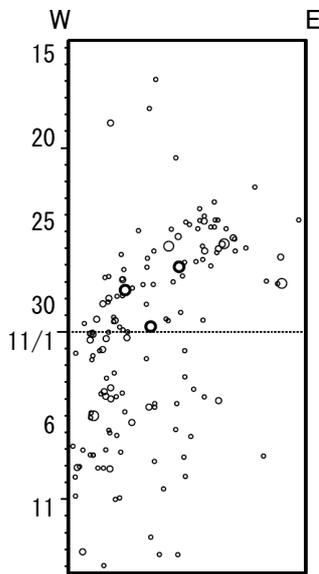
南北方向の時空間分布図



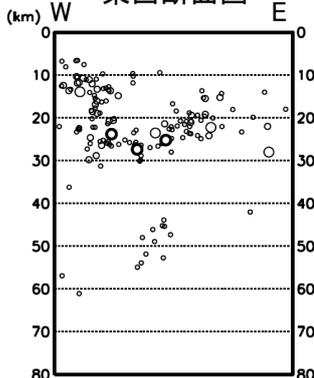
矩形内の地震活動経過図・回数積算図



東西方向の時空間分布図



東西断面図



最大震度の時系列図 (計測震度表示)

